

輸送力増強のため新たに6両固定が誕生した。このとき吹き抜け風防止のためサハ8700の客室内の貫通路に引き戸が設置された。このほかに戸閉保安装置も設置されている。



↑ CLG-350D型MG

・後期車

昭和51～54年に製造された第8～10次車が該当する。

このグループでは東上線専用編成として8両固定が誕生した。また、製造工程の簡略化のため前述したように台車がS型ミンデンのFS-396型となった他に以下の変更点がある。

- ・側扉および貫通路引き戸のセミステンレス化による無塗装仕上げ
- ・床材のステンレスキーストンプレートへの変更
- ・放送増幅機器の形状変更
- ・東上線用車両のクハの側面サボ受けが省略
- ・荷棚下の握り棒設置
- ・側扉外に保護ゴムの取り付け
- ・床下機器の配置変更



↑ 角型の形状の前・中期車(右)と丸型の形状の後期車の増幅器(左)

・最後期車

昭和55～58年に製造された第11～13次車が該当する。

このグループは陳腐化した7300系の置き換えを目的として製造された。そのため伊勢崎線向けに2・4・6両固定も製造再開している。

・平成 15 年度施行グループ

バリアフリー法の施行にともない、車内には LED 式案内表示機とスタンションポールが取り付け、車内通報装置の変更が行われた。また、81120F のみ試験的に床材がオレンジとなった。

なお、この年度の81110F・81113F・81114Fの3編成で非ワンマン車の修繕工事は最後となった。



↑ LED 式案内表示機



↑ スタションポール

・平成 16 年度施行グループ

群馬ローカル三線(佐野線。小泉線。桐生線)や伊勢崎線の末端区間(大田ー伊勢崎)のワンマン化のため、ワンマン対応車両の修繕が集中的に行われた。

今回は、2、4両固定のほかに東上線で余剰となった8両固定を3両固定×2編成分割修繕をした3両固定が生まれた。この800・850系を含めた8両固定の分割修繕については後の宇都宮線の4両固定とあわせて、別項にて説明する。

その他にも81119Fが試験的に前照灯ケースにデフロスタが装備され、運転台には試験装備を喚起するステッカーが貼られている。

・平成 17 年度施行グループ

冷房装置の冷媒がフロン破壊係数0の代替フロンに変更されている。前年度に引き続き、ワンマン化に備え、2両固定編成の修繕工事と8両固定→3両固定×2編成への分割修繕が行われた。

その他に乗務員室扉上部に雨どいが追加されている。



←乗務員室上部の雨どい

戻すとともに床とドア化粧板も登場時のものに復元され、ダミーながらも運転室窓下の通風器、通過表示灯、サボ受けも復元された。最近では廃車発生品の本線タイプの方向幕に交換された。

現在は春日部支所に常駐し、今後も貴重な産業遺産として各種イベントや臨時運転を行う予定である。過去の運転実績を簡単ながら紹介する。

•平成 24 年

8 月 28 日～9 月 2 日…動態保存記念ツアー(大宮～とうきょうスカイツリー)

9 月 29 日～11 月 25 日(土休日)…スカイツリー臨時電車(大宮～とうきょうスカイツリー)

11 月 17, 18 日…森林公園ファミリーイベント(森林公園検修区)

11 月 21 日…浅草エキミセ号(春日部～浅草)

12 月 2 日…東武ファンフェスタ

•平成 25 年

3 月 23 日～4 月 7 日…アニマルトレイン(北千住→東武動物公園→とうきょうスカイツリー)

4 月 27～29 日、5 月 3～6 日…臨時快速(東武動物公園～東武日光、東武日光～南栗橋)

6 月 9 日…東武 60000 系デビューイベント(南栗橋車両管理区七光台支所)

8 月 11 日～25 日(土休日)…スカイツリー臨時電車(大宮～とうきょうスカイツリー)

10 月 12 日～11 月 10 日(土休日)…臨時快速(東武動物公園～東武日光、東武日光～南栗橋)

11 月 17 日…森林公園ファミリーイベント

平成 26 年度

5 月 1 日…東上線 100 周年イベント電車(池袋～森林公園)



←登場時の塗装に戻された 8111F